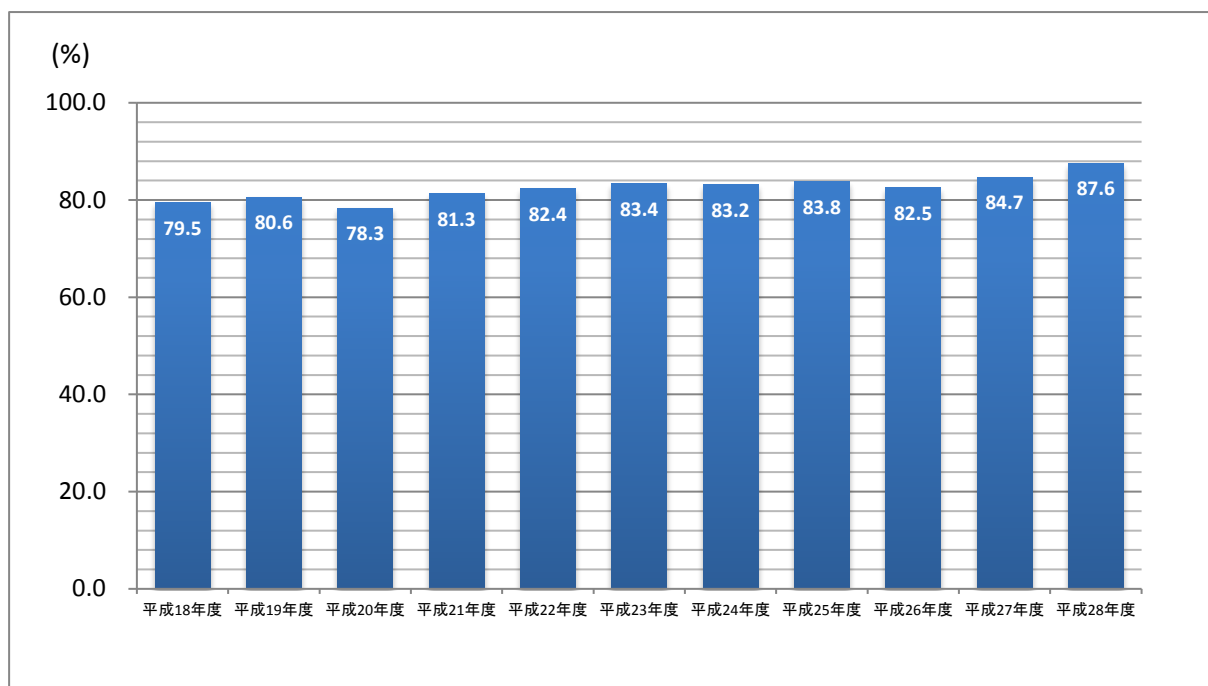


28. 病床利用率



病院の経営指標の一つである病床利用率は、どの施設においても重要な指標として、注目される項目である。

当院の病床数は、平成22年2月よりそれまでの1,505床から1,494床、平成24年1月から1,489床に病床数が減少、平成25年度より1,505床となった。平成27年5月よりA棟開棟に伴い1,435床へ減少した。平成28年度は、B棟開棟に伴う工事の為、稼働病床数を1,338床（H29.3.31時点）まで減少させた。この点と、看護部を中心としたベットコントロールによる結果が病床利用率を87.6%と+2.9P上昇させている。

しかし、B棟開棟後の確実性のある病院経営のために、更なるベッドの無駄が出ない運営を実現し、病床利用率90%を目指して、各診療科及び看護部を中心に病院全体で進めていく必要がある。

データ提供 医療事務部入院医事課